

諮問日：令和2年8月31日（令和2年度（最情）諮問第19号）

答申日：令和3年2月22日（令和2年度（最情）答申第52号）

件名：裁判所ホームページに掲載して行った72期司法修習生考試の不合格発表
の手順を定めた文書の不開示判断（不存在）に関する件

答 申 書

第1 委員会の結論

「72期司法修習生考試の不合格発表の手順を定めた文書（裁判所HPで行ったもの）」（以下「本件開示申出文書」という。）の開示の申出に対し、最高裁判所事務総長が、本件開示申出文書は作成し、又は取得していないとして不開示とした判断（以下「原判断」という。）は、妥当である。

第2 事案の概要

本件は、苦情申出人からの裁判所の保有する司法行政文書の開示に関する事務の取扱要綱（以下「取扱要綱」という。）記第2に定める開示の申出に対し、最高裁判所事務総長が令和2年7月22日付けで原判断を行ったところ、取扱要綱記第11の1に定める苦情が申し出られ、取扱要綱記第11の4に定める諮問がされたものである。

第3 苦情申出人の主張の要旨

本件開示申出文書が本当に存在しないか不明である。

第4 最高裁判所事務総長の説明の要旨

本件開示申出文書については、「第72期司法修習生考試の不合格発表の手順を定めた文書（裁判所のホームページに掲載した際のもの）」と整理した。

司法修習生考試の不合格情報を最高裁判所のホームページに掲載する際の処理手順は簡易なものであり、これを定めた文書を作成する必要はないことから、本件開示申出文書は作成又は取得していない。

第5 調査審議の経過

当委員会は、本件諮問について、以下のとおり調査審議を行った。

- ① 令和2年8月31日 諮問の受理
- ② 同日 最高裁判所事務総長から理由説明書を収受
- ③ 令和3年1月22日 審議
- ④ 同年2月19日 審議

第6 委員会の判断の理由

- 1 最高裁判所事務総長の上記説明によれば、司法修習生考試の不合格情報を最高裁判所のホームページに掲載する際の処理手順は簡易なものであり、これを定めた文書を作成する必要はないことから、本件開示申出文書は作成し又は取得していないとのことであり、上記処理手順が複雑であることをうかがわせる事情も見当たらないことからすれば、このような説明の内容が不合理とはいえない。そのほか、最高裁判所において、本件開示申出文書に該当する文書を保有していることをうかがわせる事情は認められない。

したがって、最高裁判所において本件開示申出文書を保有していないと認められる。

- 2 以上のとおり、原判断については、最高裁判所において本件開示申出文書を保有していないと認められるから、妥当であると判断した。

情報公開・個人情報保護審査委員会

委員長 高橋 滋

委員 門口 正人

委員 長戸 雅子